



道標

☆「中3」が始まった。——ここから、人生が少しずつ動き出す。

3年生になり3日目を迎えました。クラス替えがあり、先生も仲間も変わって、落ち着かない人もいます。楽しい気持ちもあれば、不安や緊張を感じている人もいるでしょう。でも、その気持ちは自然なことです。

ただ、ひとつだけ伝えたいことがあります。

中3は、“気づいた人”から変わっていく学年です。

スタートの4月は、まだみんな同じ場所にいます。ただしこの1年間は、気が付くとあっという間に過ぎていきます。「まだ4月だから大丈夫」ではなく、「4月だからこそ整える」ことが大切です。気が付くと6月には差が出て、夏には「流れ」が決まっていきます。それは才能ではなく、ほんの小さな習慣の差です。

■修学旅行は、ただのイベントじゃない

5月末には修学旅行があります。

修学旅行は、楽しい行事であると同時に、学級や学年の雰囲気をつくる大切な場面でもあります。

誰かが困っていたら助ける。空気を読んで動く。時間を守る。全員が気持ちよく過ごせるように考える。

こういう力は、テストの点数より先に、これからの高校生活や社会で必要になっていきます。そして何より——

「この学年、いい雰囲気だな」と思える空気は、受験期の自分たちを救ってくれます。

進路は最終的には個人戦です。でも、乗り越える空気は団体戦でつくられます。学級としても、学年としても、いいスタートを切っていきましょう。

■中3は「自立に向かう1年」

中学校生活は、義務教育の最後です。これからは、「誰かが決めてくれる」ことが減っていきます。だから中3で大事なものは、自分で考えて、自分で動くこと。

うまくいくこともあります。失敗することもあります。でもその失敗は恥ずかしいことではありません。挑戦した人だけが失敗します。そして挑戦した人だけが、成長します。

■中3の生活、ここが分かれ道

中3で一番差がつくのは、「才能」ではなく生活リズムです。頑張りたい気持ちがあっても、身体がついてこなければ続きません。

① 睡眠は最強の味方

おススメは7時間以上。できれば8時間。夜ふかしが続くと、次の日の授業が頭に入らなくなり、気づかぬうちに差がついていきます。目安として、できるだけ23時までには寝ることを意識してみましょう。

② 授業を大事にする人が伸びる

受験勉強は、特別なことをするよりも、まずは「授業を大事にする」ことが一番の近道です。予習・復習が完璧じゃなくても大丈夫。授業で理解しようとする姿勢が、あとで大きな力になります。

③ 小テスト・単元テストは軽く見ない

本校は前後期制のため、普段の小テストや単元テストの積み重ねがとても大切になります。「定期テストだけ頑張る」ではなく、日々の準備を少しずつ続けていきましょう。

④ 実技教科こそ、提出物と忘れ物が勝負

音楽、保健体育、技術・家庭、美術などの授業は回数が少ない分、一回一回の提出物や授業態度の影響が大きくなります。「出し忘れ」「忘れ物」のないよう、早めの準備を意識しましょう。

⑤ 塾に追われすぎないことも大事

塾に通っている人も増えてきますが、頑張りすぎて生活リズムが崩れてしまうと逆効果になることもあります。「続けられる形」を大切にしながら、自分のペースを整えていきましょう。

■進路の話は、これから少しずつ

4月の時点で、進路が決まっていなくても大丈夫です。迷っているのは当たり前です。

ただ、これから少しずついいので、「自分はどんな高校生活を送りたいのか」「どんな大人になりたいのか」そんなことを考え始めてほしいと思います。

進路の具体的な流れは、進路学活やこの進路便りなどで詳しくお知らせします。

■最後に

中3の1年は、早いです。あっという間です。だからこそ、この4月を大切にしてほしい。新しい仲間と、新しい学級で、そして学年全体で、「いい1年だった」と言える1年をつくっていきましょう。

きっと2学期以降、受験のことを考えるとしんどい時期は必ずやってきます。忙しいし、悩むし、思い通りにいかないことも増えてきます。

でも——

中3を「頑張った」と言える人は、必ず次のステージで強いです。

高校に行っても、社会に出ても、最後に支えになるのは「自分はやれる」という実感です。

今年1年で、その実感を手に入れてほしい。それが、先生たちの願いです。

【保護者の皆様へ】

中学3年生は、進路について本格的に考え始める1年となります。

お子様にとっては期待もある一方、不安や迷いが大きくなる時期でもあります。

この時期は、結果や点数だけでなく、日々の努力や小さな成長を認めてもらえることが、お子様の大きな支えになります。ぜひご家庭でも、「最近どう?」「学校はどう?」といった何気ない会話を大切にしてください。

本校教職員一同、生徒一人一人が納得できる進路選択ができるよう、丁寧に支援してまいります。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

